

会 議 録		令和 4 年 7 月 19 日 作成	令和 8 年 3 月 末 日 廃 棄
会議名	京都府綾部警察署協議会（令和 4 年度第 1 回）		
開催日	令和 4 年 7 月 14 日（木曜日）		
時 間	午後 1 時 30 分から午後 2 時 50 分までの間（80 分）		
場 所	京都府綾部警察署 署長室		
出席者	大槻会長、梅原副会長、塩見副会長、吉田委員、上原委員、上田委員 （欠席 藤田委員） <span style="float: right;">計 6 人</span>		
	署長、副署長、生活安全課長、広聴係長 <span style="float: right;">計 4 人</span>		
諮 問 事 項	特殊詐欺被害の現状と綾部署における取組について		
会 議 内 容	1 委嘱状の交付 <span style="float: right;">司会 副署長</span> 2 警察署幹部紹介、各委員挨拶 3 会長挨拶 4 署長挨拶 5 協議 <span style="float: right;">司会 会長</span>		
	(1) 諮問事項説明 綾部市における特殊詐欺被害の現状と被害防止のための綾部警察署の取組について～生活安全課長 <b>【委員】</b> 先ほど検挙された犯人というのは主犯か。 <b>【警察】</b> 受け子と呼ばれる役割の者になる。 交付型の被害で、現金を宅配便で送るよう指示されたが、被害者が途中で詐欺だと気づき、送り先を特定して荷物に付いていくような形で受け取った人物を確保した。共犯も検挙したが、それも受け子になる。その他に受け子を斡旋している人物、かけ子と呼ばれる金融機関や警察官役の人物がおり、それぞれが電話をかけて信じさせるという巧みな詐欺の手段である。 <b>【委員】</b> 家ではまだ固定電話を使っており、固定電話にかかってくるのは大抵ろくでもない電話だ。親戚等からかかってくるのがまずないため、留守番電話機能がついていれば、一旦録音し、後から聴けるので良い		

会 議  
内 容

と思う。

【警察】高齢者世帯では固定電話のみという家が多いため、現状としては狙われやすい。

もちろん、携帯電話から騙される場合もある。ただ、犯人はやみくもにかけている訳ではなく、ある程度の知識を持っている。その家にどういう人が住んでおり、高齢者が居るのかどうかという情報を事前に仕入れている。

また、名簿などの個人情報を斡旋しているグループもいる。

【委員】朝からスマートフォンに投資名目の詐欺メールが来て、削除してもしつこく来るので参っている。

【委員】以前に特殊詐欺の話聞かせてもらったときは「綾部市は被害が少ない」という話で、その理由が、北部は南部と比較してATMやコンビニエンスストアが少ないということだった。

その中で、4件で約960万円の被害と聞き驚いている。

綾部市の被害では、市街地が多いのか周辺部が多いのか。周辺部は独居が多いと思うが、街の中はATMやコンビニエンスストアが多いなどそれぞれの弱点があると思う。

ただ、周辺部は人のつながりが街の人より強いようにも思う。

防犯教室へ行くと、よく聞くのは「わしは大丈夫や。」と、次に出るのは「そんな金はない。」である。大体はその2つに集約して自分は大丈夫と安心して帰って行くので、その心の隙をつかれるのだと思う。

予兆案件を含めて地域的にはどうだろうか。

【警察】地域的な特性はなく、周辺部でも「ATMへ行ってくれ。」と言われた事案もあり、高齢女性宅へ40分ほどかかるコンビニエンスストアまで行くよう電話がかかってきたこともある。綾部市の地理をピンポイントに把握していないと思われる。

【委員】そこで気付くはずだが、気が動転するのだろうか。

【警察】その方はタクシーで行こうとされていたが、隣人に相談して詐欺だと気づき、ことなきを得た。

【委員】振込限度額は1日に50万円であったか。

【警察】引き出しの限度額は1日に50万円である。

【委員】振り込みはできるのか。約960万円という被害金額に驚いた。宅配便と聞いたが、どういう方法でそんな高額になったのか。

【警察】複数回に渡り振り込んでいる。

【委員】金融機関の窓口でお金を引き出すとき「何に使われますか。」と聞かれるが、あれは防犯目的で、警察がそういう指導をしているのか。

会 議  
内 容

【警察】警察から依頼をしており、高額出金の場合、不審点があれば警察官が確認するようにしている。

問題がなければそのまま手続きをしてもらうが、そこで初めて詐欺だと判明する場合も多い。

【委員】それは不評である。解約されたくないのか、など銀行側の都合と捉える人が多く「そんなことは余計なお世話だ。」という気持ちになる。

【警察】警察の出動回数も多く、手間は掛かるが、なんとか被害を防ぎたいということで取り組んでいる。

【委員】説明を聞いて、そういう目的と分かった。

【警察】特に高齢者の場合は各金融機関から警察へ「高額出金があります。」と連絡をもらい警察官が向かう、ということを繰り返している。

【委員】今はどこの地区でも高齢者サロンを運営しており、私達も「今月は何を言おうか。」と頭を悩ませている。

この前は、被害額が900万円以上になると聞いたので、サロンで「気を付けましょう。」と発信できた。

そういう機会を通じて、委員から発信していくこともできる。

【委員】高齢者の話を多く聞くが、例えばスマートフォンのLINEを使ったものも特殊詐欺に当たるのか。

知人を装い、コンビニエンスストアでギフトカードを買わされた例もある。

若い世代の人でも、知り合いからだとい安心し、振り込んだという話を聞くことがある。

SNSの詐欺でも、警察で相談に乗ってもらえるのか。

【警察】被害届も受理しているが、コンビニエンスストアなどで電子マネーカードを購入させられる場合では、犯人はカード番号を入力するだけで利用額を詐取できるため、犯人からカードの写真画像を送信するよう指示され、何度も高額な金額を騙し盗られることになる。

被害者には高齢でない方もいるため、色々な手口を知ってもらうことが大事と思われる。

【委員】そういう被害に関して、検挙事例はあるのか。

【警察】メールなどのやり取りだけで、被害に遭ったという場合はかなり難しい。

電話のかけ子などもその拠点を中々検挙出来ないのが現状で、最近では海外から日本にいるかのように装い、電話をかけてくる場合がある。

現地警察に捕まった例もあるが、海外からかけてくる場合もあり、ますます難しくさせている例がある。国内に拠点がないように思われ

会 議  
内 容

る。ただ、海外に拠点を置く、名簿を入手する、受け子やかけ子を手配するという動向の背景には暴力団が疑われる。

暴力団については、山口組であるとか稲川会、関東の住吉会というところの幹部が逮捕され、使用者責任といった部分で民事訴訟で争っているところもある。

警察では、昨年春から特殊詐欺の事件処理を知能犯罪の捜査第二課から暴力団の取締りにあたる組織犯罪対策第二課に業務移管し、そういう面で対策を打っているところである。

【委員】乗っ取りの場合はどうやって気付いたら良いのか。その当人に確認するということだろうか。知人を装ったメールが来た場合、お金が絡めば詐欺を疑った方が良いのか。

【警察】コミュニティが重要と思われる。誰にも相談できず自分一人で判断すると誤ってしまう。家族やご近所など、町ぐるみで高齢者を見守っていくことが重要である。

【委員】被害に遭うのは一人暮らしの方が多いのか。

【警察】そうでもないが、高齢者世帯の方が多い印象を受ける。

【警察】騙されると、逆に「子どもに怒られる」と思い、すぐに相談できずに騙されてしまうといったケースも聞く。

【委員】今年になって予兆案件や実被害が多い原因は分析しているのか。

【警察】発生件数が少なく被害額が大きいというのは、成功率が高いということの意味する。犯人側に「綾部市は成功しやすい」という情報が伝わっており、より多くの犯人が流れ込んでくることが考えられる。

対面でキャッシュカードを渡した被害は「カードを封筒に入れて封印する」と見せかけて、隙を見てすり替えられたという態様であるが、実はこの前に警察官騙りの予兆電話を数件認知していた。

警察官騙りの電話は、最終的に警察官や金融機関を装った犯人が被害者を訪ねるという展開になるため、近くに受け子が待機していると確信し、パトカーでの広報啓発を実施した。それでも1人が騙され、金融機関から計150万円を引き出されるという被害が発生した。

公共交通機関の少ない地域ではこの種の被害はないと思っており、実際にこれまでは発生がなかったことから、大変ショックであった。

【委員】騙されやすいのは、綾部市民の人間性だと思う。

犯人グループの間ではそういった交流や情報交換が行われるのか。

【警察】そのように理解している。

【委員】地域の会合等に出られる方は被害に遭う割合が少ないのではないか。

近所との付き合いがない独居や夫婦のみで生活されている方は、入ってくる情報が少なく、騙されてしまうように思う。

会 議  
内 容

【委員】警察官と聞くと騙されてしまう。

【委員】最近は「交番の者です、と言われても疑ってかかれ。」と言われる。自宅への電話セールスでも、電気の関係は疑ってかからないとダメと言われるなど、それくらい用心した方が良いかもしれない。

【委員】銀行、警察、市役所などいわゆる固い印象のあるところを名乗られると、本来は身分証を呈示するはずだが、電話では信用してしまう。

【委員】先ほどの説明の中の、キャッシュコーナーで50万円ずつ3回おろされたケースについて、キャッシュコーナーは日に50万円、月に200万円が限度額であり、この種の状況をみると金融機関の協力が不可欠に思われる。

銀行の管轄かもしれないが、例えば、本人の希望によってキャッシュコーナーの月の限度額を200万円から50万円に下げる、それを超える分は窓口で依頼するといったことが出来ないものかと思う。

それともう一点、銀行では窓口でお金を引き出すとき、非常に丁寧に本人確認をされる。確かに窓口へ行ったときは、何が目的で聞かれるのか分からない、さっき仰ったように「自分のお金を引き出すのに、何故ここまでされなければならないのか。」と思うと、忙しいときなどは苛っとする。

おそらく、目的をしっかりと理解すれば快く協力する方もいると思う。窓口の職員が「詐欺被害の状況を踏まえて本人確認をさせていただいている。」と一言添えることで快く協力を得られるのではないか。

皆が協力して取り組む問題と思うため、警察から協力要請をするときは本人確認の主旨を添えられれば良いのではないかと思う。

【警察】引出しの限度額を下げるということは推奨している。

諸事情もあってと思うが、中々受容してもらえていない。

【委員】限度額は設定しておかないと怖い。

郵便局ではもっと執拗に本人確認をしてることがある。

【警察】今はコンビニエンスストアでも引き出せるので、全部を手配するというのは難しい。

【委員】被害防止の対策として、固定電話の周りにアピールできる何か、ステッカーなどはどうだろうか。目の前に貼ってあると良いのではないか。

【警察】去年はポップアップシートを作製して各家庭等へ配らせてもらった。

【委員】そうであった。

【委員】あのポップアップシートは良いと思う。起き上がってくるので、受話器を取るときに眼に入り、少しでも考えることができる。

【警察】先日、高齢者の方へ「何かあれば綾部署に電話してください。」と

話したところ「綾部署の番号が分からん。」と言われたため、今は、綾部警察署の電話番号を載せたステッカーを配布している。

【委員】情報発信という点ではメールなどが紹介されていたが、紙媒体も非常に効果的と思っている。

自治連合会役員をしていたとき、自治会長会の資料には綾部警察署の広報紙から大きな項目を抜粋し、組長会、組集会でも使った。

カラフルで段々と見やすくなってきたので、紙面を出すことも非常に大事と思っている。

【委員】随分と改善されて読みやすくしてもらった。掲示板に貼っているが、どうやったら見てもらえるかといつも苦心している。あの手この手で色々とやってもらえるのが良いと思う。

【委員】色々な形で情報発信してもらえると有り難い。

【委員】予兆電話をかけてくる相手の特徴、時間帯や性別、印象としての年齢などは分かるだろうか。

会 議  
内 容

【警察】予兆電話の相手は大半が男性である。本年中に綾部市内へかかってくるもので女性からの電話はなかった。

【警察】時間帯は平日の午前中、金融機関が開いている間にかかってくる。

(2) その他

【委員】綾部署の前のバス停が移動したが、これは位置的に大丈夫なのか。

おそらく信号の関係で場所が動いたものと思うが、停車禁止区域のちょうど真向かいになり、バスが停車すると、出入りなど色んな面で問題が生じないものかと思った。

【警察】支障があったという話は聞いていない。当署は出入口の幅が比較的広く、緊急で赤色灯を回して出発する際に支障が出ることはないと理解しているが、パトカー乗務員等にも確認する。

【委員】支障がないのであれば良い。

## 6 事務連絡

令和4年度第2回綾部警察署協議会は、9月29日開催予定である。

以上

## 第1回京都府綾部警察署協議会の開催状況

